

英 語 科

1 小学校での学習との違いは

小学校では英語を楽しむ、慣れることが中心でしたが、中学校では文法など体系的に学び、単語も覚えて書けるようにします。学習した文法や単語を使った活動を通して、実際に英語を使えるようになることを目指します。

2 英語科の学習で大切なことは

- (1) 授業中は、間違いを恐れずに「相手の気持ちや考えを分かろうとする」ことや「自分の気持ちや考えを相手に伝えようとする」ことが何より大切です。
- (2) 英語は頭で理解するだけでは使えるようにはなりません。毎日少しでも良いから英語に触れる（聞く・読む・書く・話す）時間をもち、体に染み込ませましょう。

3 授業中の約束は

- (1) 忘れ物はしません。忘れてしまったときは授業開始前に先生に伝えましょう。

<準備物>

- ①教科書
- ②A ノート(授業の板書を書き写す)
- ③B ノート(単語練習をする)
- ④ワークブック
- ⑤ファイル



※ファイルは学校に置いていってもかまいません。その他は毎回家に持ち帰りましょう。

- (2) 先生（ALTも）や友達の話をよく聞きましょう。
- (3) 失敗や間違いを恐れず積極的に発言しましょう。人の失敗を笑うことは厳禁です。

4 どのような学習をすればよいですか

- (1) 予習（家庭で）
 - ① 教科書の本文をノートに写します。
- (2) 授業中
 - ① 先生やALTの英語をよく聞いてマネをしてみましよう。ジェスチャーや表情を付けてマネをすると楽しいですよ。
 - ② 英語を話したり、読んだりするときは、大きな声を出しましょう。
 - ③ 話し相手の目を見て、笑顔で会話することを忘れずに。表情やジェスチャーを交えて、一生懸命に相手に伝えましょう。
- (3) 復習（家庭で）
 - ① 教科書の基本本文や単語、本文を何度も書いたり、読んだりして練習しましょう。
 - ② 基本本文を使って身の回りのことを自由に書いてみましょう。
 - ③ 授業で習った範囲のワークブックを自主的に進めましょう。ワークに直接書き込まず、Bノートに書くと、何回も繰り返し解くことができ力が付きます。
 - ④ 授業中行った活動（話したこと）を、英語で書いて確認しましょう。

5 得意科目にするにはどうしたらよいですか

英語科の授業には、大きく分けて「リスニング（聞く）」「スピーキング（話す）」「ライティング（書く）」「リーディング（読む）」の4つの学習活動があります。

- リスニング・・・教科書本文のQRコードの音声を聞いて、たくさん音読やシャドーイングをすると効果的です。聞き方にはコツがあります。最初から全部をわかろうとせず、聞く目的を確かめ、キーワードを拾いましょう。
- リーディング・・・本文の場면을思い浮かべたり、英文の意味を考えたりしながら音読しましょう。登場人物になりきる気持ちで。
- スピーキング・・・言いたいことを英語にするには、英語の語順を知ることが大切です。基本は「誰が、どうした、何を、どのように、いつ」です。間違えてもよいから自分について話す練習をしましょう。
- ライティング・・・授業で話したことを振り返って、英語で書いてみましょう。書いてみると、正しい言い方や分からないところに気づくことができます。また、教科書の単語は太字のものからBノートに何回も練習して覚えましょう。「英語がわからない」のほとんどは「単語が覚えられない」ことが原因です。

5 身につけたい力はどうなっているのでしょうか

観点は3つあります

○「知識・技能」

英語の基本的な知識や技能の力です。英語の音声や語彙、表現、文法などを理解し、実際のコミュニケーションに活用しているか、主に授業中の取組、パフォーマンステストや定期テストを通して見ます。

○「思考・判断・表現」

情報を整理し、英語で考えを表現する力です。リスニング、リーディング、スピーキング、ライティングが含まれます。英語で簡単な情報や考えなどを理解し、表現したり伝えあったりしているか、主に授業中の取組、定期テストやパフォーマンステストで見ます。

○「主体的に取り組む態度」

学習に対する姿勢や取組です。多文化社会への理解を深め、相手に配慮しながら主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとしているか、授業中の態度や振り返りの様子、提出物の質、パフォーマンステスト等を通して見ます。

